

スポーツ組織を強くするための方策

How to make sports teams strong

1K05A129

指導教員 主査 山崎勝男先生

高原 敦彦

副査 葛西順一先生

【第1章 序論】

本論文では、スポーツ組織をより強くするための方策について、理想的なスポーツ組織・理想的なリーダー・ドロップアウトの抑制の観点から、考察する。第二章では理想的なスポーツ組織について、第三章では理想的なリーダーについて、第四章ではドロップアウトの抑制について述べ、第五章の結論ではこれらをまとめて、スポーツ組織をより強くするためには何をすべきかを考察する。

【第2章 理想的なスポーツ組織】

本章では、理想的なスポーツ組織について考察する。スポーツ集団とスポーツ組織の定義づけが曖昧なため、集団と組織の定義を明確にした上で、スポーツ組織とスポーツ集団の違いについて考察する。その後、スポーツ組織の中で、権限をどこにおけばスポーツ組織は強くなるか、また、スポーツ組織の意思決定方法は、専制型がいいのかメンバー参加型がいいのかについて考察する。最後に、意思決定をリーダーや一部のメンバーだけで行うのではなく、メンバー全員で話し合いながら行い、意思決定をする、参加的意思決定について考察する。

【第3章 理想的なリーダー】

本章では、理想的なリーダーについて考察する。理想的なリーダーは民主的か専制的かを考察した後に、PM式リーダーシップ論について考察する。PM式とは、目標達成(P)と集団維持(M)に関わる行動の強弱から、リーダーをP

型、M型、PM型、pm型の4つのタイプに分け、リーダーシップについて考察されたものである。その後、理想的と考えられるPM型の例外と対策について考察し、スポーツ組織において、P機能をいかにしてM機能に結びつけ、成果を上げるかを考察する。そして最後に、リーダーにおける、現場主義と衆知を集める重要性について考察する。

【第4章 ドロップアウトの抑制】

強く、その強さを永続的に維持できるスポーツ組織になるためには、ドロップアウトの抑制は避けては通れない。組織が上手く機能しなかった一例として、ドロップアウトが考えられる。これを防ぐためにも、組織とリーダーの存在、役割は重要なものになってくる。本章では、ドロップアウトの5つの原因と対策について、文献を通して考察する。また著者が実際に体験した事例と対策について考察する。

【第5章 結論】

理想的なスポーツ組織になるためには、強さと永続性は絶対条件である。権限は部員外にある場合に、スポーツ組織は最も強いという結果になった。意思決定方法は、専制型を指導者もメンバーも最も好んでいる。また参加的意思決定は、一概にチームを絶対に強くする方策とはいえないが、組織力を向上し、メンバーのモチベーションを上げる、一つの方策として、試してみる価値は充分にあると、著者は考える。第3章では、民主的・専制的の両方を上手く兼

ね備えている、PM 型のリーダーが理想的であると考えた。しかし、メンバーの習熟度やモチベーションに応じて、リーダーは常に自分のリーダーシップ・スタイルを点検していく必要がある。最後に、現場主義と衆知を集めることの重要性を、さまざまな研究結果から導き出した。第4章では、ドロップアウトの原因と対策で述べた5つの例で、リーダーとドロップアウトの抑制には深い関係性がみられた。できるだけ早く、本人の悩みや問題に、リーダーやメンバーが気づき、そして適切にその問題に対応していくことが重要だと考えられる。最後に、組織を改善する方策をやるかやらないかは、リーダー、メンバー次第である。著者はスポーツ組織の一人ひとりが、能動的に組織を強くしようとすれば、必ず組織は強くなると考える。